

平成 19年度アウトソーシングアクションプラン 個別業務シート 様式 2

部署名：土木部 】

1 アウトソーシングする業務	
(1) 業務名	橋梁点検業務
(2) 業務の概要 (100文字以内)	県が管理する橋梁(約2,500橋)の中で、職員では対応が困難な橋梁の点検を「高知県職員橋梁点検マニュアル(案)」により実施する。(H19点検予定500橋の内、約2割(100橋)の困難な部位を想定)
(3) 予算化の時期(予定)	9月補正
(4) 発注時期(予定)	11月頃
(5) 委託期間(予定)	平成19年11月～平成20年3月
(6) 担当課室 担当者	道路課 保全担当 岡崎
(7) 想定する委託先	民間企業
(8) 想定する契約方法	指名競争入札
(9) 想定するアウトソーシング人役	0.9人役
2 アウトソーシングする理由(何のためにどんな役割をアウトソーシングするのか)	
<p>高度成長期に大量に建設された橋梁の更新時期が訪れるが、財政状況が厳しい現状では新たに作り直すことは困難である。そこで、県が管理する橋梁の効率的な維持管理のため、予防保全の観点から橋梁の健全度の把握が必要で、平成18年度から職員による橋梁点検を推進している。しかし、山間部を始め地形条件が厳しい箇所の橋梁点検は特殊な機械が必要であり、職員では十分な対応が困難である。このため、職員で実施が困難な部分の点検についてアウトソーシングを行う。</p>	
3 アウトソーシングの効果として重視しているもの	
(1) 県民サービスの質の向上	職員では十分対応できない点検業務を民間に出すことで、橋梁の現状を把握し、耐久性に影響を与える損傷の早期発見、適切な維持管理を行うことが可能となり、橋梁の安全確保と延命化による既存施設の有効利用が図られる。
(2) 民間との協働による人材育成、雇用の創出	
(3) 県民の参画、地域の活性化	
(4) その他	